

調査報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

<ul style="list-style-type: none"> . 理念に基づく運営 項目数 1. 理念の共有 11 2. 地域との支えあい 3. 理念を实践するための制度の理解と活用 4. 理念を实践するための体制 5. 人材の育成と支援 	
<ul style="list-style-type: none"> . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 2 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 	
<ul style="list-style-type: none"> . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 6 1. 一人ひとりの把握 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 	
<ul style="list-style-type: none"> . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 11 1. その人らしい暮らしの支援 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり 	
合計	

訪問調査日	平成 20 年 3 月 29 日
調査実施の時間	開始 9 時 30 分 ~ 終了 14 時 30 分
訪問先事業所名 (都道府県)	グループホーム東の広場 (福島県)
評価調査員の氏名	氏 名 松田節子 氏 名 村田俊夫
事業所側対応者	職 名 介護支援専門委員・介護福祉士 氏 名 水野谷公代 ヒアリングを行った職員数 (2) 人

項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家 族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年4月25日

【評価実施概要】

事業所番号	772800512
法人名	医療法人 緑桜会
事業所名	グループホーム東の広場
所在地	福島県白河市東釜の子字枇杷山66 5 (電話) 0248 - 35 - 1666

評価機関名	NPO 福祉ネットワーク
所在地	福島県いわき市錦町竹の花20番地
訪問調査日	平成20年 3 月 29 日

【情報提供票より】20年 3月 1日

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16 年 7 月 1 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16人 常勤 9 人, 非常勤 7 人, 常勤換算 9,3

(2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り 2 階建ての 2 階 ~ 1 階部分
------	------------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	51,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	550 円	おやつ	150 円
	または1日当たり	1,200 円		

(4) 利用者の概要(3月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	8 名	女性	10 名
要介護1	3 名	要介護2	5 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5	4 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 88 歳	最低	77 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医)緑桜会 緑ヶ丘さくら診療所、白河病院
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に囲まれ、小高い丘に2階建ての外観はペンションを想うが如く、おしゃれに近隣の住宅街になじんでいた。一步踏み入ると、清潔感漂う空間に医療法人を母体とした24時間サポート体制医療と介護連携を充実させた、全職員のスキルアップを惜しまないケアは、プロ意識が感じられる一方利用者は生きがいとなる趣向を楽しむ笑顔の中に、穏やかに流れる日々の安堵感がみられた。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 外部評価の結果を通して、全スタッフで再確認と見直し、実践につなげていた。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価を全スタッフで見直し、検討することで、事業所、自分を振り返る機会づくりとなり、改善に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 定期的に運営推進会議を開催することで、各専門分野のアドバイスを基に意見を出し合い、サービスの向上につなげている。また一方通行にならないよう、市へは毎月利用者の実態報告書を提出することで、実情を積極的に伝える機会を作っている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族の意見要望を聞き逃さず傾聴したり、第三者機関や苦情処理委員会の徹底づけで、運営の反映につなげている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 日々のアピール成果によって、自治会や地域ボランティア協力のもと、日常生活に張り合いが持てるよう支援している。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	人権、尊厳を重視した、安心、安全な日常が送れるよう独自の理念をつくりあげていた。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	具体的実践に向け、日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会では、奉仕作業や会合、地域の敬老会や文化祭に参加したり、地域ボランティアの協力でフラダンス教室や陶芸教室を設け、交流を図っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価を見直し、検討することで再確認し、具体的改善に取り組んでいる。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度運営推進会議を設けることで、現状報告や取り組みを報告し、各専門分野のアドバイスを活かした取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホームの現状把握や理解を得られるよう、毎月利用者の実態報告書を提出し、アピールしている。		
/////////					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月家族宛に生活の様子や健康状態、金銭管理を郵送している。また緊急の場合は、電話連絡で報告し理解を得ている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	第三者機関や苦情処理委員会を設置し、意見、不満等の苦情をいつでも受けられるよう、当初箱を設けている。家族と話す機会を多く持ち、信頼関係を築く努力を惜しまないため、当初箱に苦情等の意見書は現在までに無い。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	各ユニットの職員を固定化し、顔馴染みのケアが受けられている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外・内部研修によりスキルアップにつなげている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人で認知症研究会を立ち上げ、事務所や地域同業者、地域包括センター職員のチームで、月1回の割合で認知症の早期発見、早期治療の勉強会を実施している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	一人ひとりの趣味やその日の気分を尊重して個別性のある暮らしを協力し、支え合う姿勢がみられた。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの意向を傾聴し、その人らしい生活が出来るように、センター方式シートの「私らしく暮らし続ける支援」を利用し、活用している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	本人や家族の意向を伺い、反映させるため、全スタッフ参加でセンター方式の「24時間アセスメントまとめ」を介護計画と照らし合わせて、利用者本位のライフスタイルを作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	期間に応じた見直しと、臨機応変に計画を作成している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族の同意のもと医療機関を決めている。また運営主体が医療法人であり、常時適切な医療体制が整えられている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者と家族の意向を尊重し、主治医と事務所は連携して全スタッフで共有し、ターミナルケアも取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの人格を尊重したケアと、個人情報等のプライバシー確保に充分注意した取り組みが行われていた。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、利用者の意見、意向に傾聴した日程の取り組み実践が行われていた。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	希望食を取り入れたり、利用者が得意とする餃子やシューマイ作りの機会を持ち、食を通して生きがい作りの支援もされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日程はあるが、毎晩の夕食後入浴希望者に対して意見を尊重し、実践していた。入浴の楽しみを持つことで、帰宅願望防止にもなっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の生活歴を把握し、畑や草花植え、収穫を通して、楽しみある生活が送れるよう支援していた。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の意向に添って、散歩、買い物と戸外に出る機会を多く取り入れ外出支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員の配慮を徹底することで、日中鍵をかけずチャイムセンサーに頼らない支援が行われていた。夜間は玄関の施錠と、希望者には居室の内鍵を使用することで、本人の安心感を優先していた。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防署の協力のもと、年2回防災訓練を行い、自治会の訓練も参加し、地域住民への災害時の協力の働きかけもを行っている。	○	年2回の消防署防災訓練時に夜間想定避難訓練実施要望の働きかけに努める。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>認知症研究会で学んだ栄養バランスと摂取カロリー、水分量管理も全スタッフで把握できるよう、ホワイトボードや介護記録への記入も徹底されている。</p>		
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の習字の作品や、陶芸教室の作品が随所に飾られ、季節の花々とともに穏やかな空間をかもし出していた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベッド以外は入所時に馴染みのタンスやマットなどを持ち込み、住み慣れた空間になるよう配慮していた。個々の居室には家族写真や季節行事の写真などが飾られ、生きがいを感じられる配慮になっていた。また、収納スペース無しの間取りも工夫することで整理整頓されていた。</p>		

3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名	グループホーム東の広場
記入担当者名	水野谷 公代

評価結果に対する事業所の意見
特に意見はありません。

評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目No.を記入してから内容を記入してください。